学校番号	1004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　地学基礎　（啓林館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち,そのしくみについて考える態度をもつこと。
２　疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
３　学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに，観察，実験などに関する基本的な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
地学の基本的な概念や原理・法則の理解をもとに、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学で取り扱う題材に対して、広範な知識を持ち、既知の概念を正しく理解していること	広範な知識を得るに至った、調査・研究の意義を理解し、他分野への連動・応用を考察し表明すること。	地学的現象と、人間活動の関係を理解し、日常生活においての実践を提案できること

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	固体地球の概観と	地球の概観 地震と地球内部	a:　地球の概観に関する知識の時間的変化を理解できている。 b:　間接的方法による内部構造が理解でき、地震の影響を考察	定期考査	定期考査 ノート提出	・ ノート提出

		熱と地球内部	表明できる。 c: 地球内部の構造を動的に理解し、地表に及ぼす影響を理解しようとする。		パフォーマンス課題	パフォーマンス課題
二学期	大気	大気圏	a: 大気の層構造を理解する。 b: 大気の各層が太陽放射に与える影響及び、環境に与える影響が理解できる。 c: 地球誕生以来の大気の変化と環境への影響が人類誕生以降どのように変化してきたを理解して、今後とるべき方向を説明できる。	定期考査	定期考査 ノート提出 パフォーマンス課題	・ ノート提出 パフォーマンス課題
	海洋	水と気象	a:海洋の層構造を理解する。 b:大気と異なる、海洋が環境に与える影響をを理解できる。 c: 水の状態変化と移動によって、大気と海洋が相互に連携して環境に影響を与えることを理解できる。			
	移り変わる地球	地球誕生	a: 太陽系生成の歴史を理解する b:地球が生命体を持ちえた理由の特異性と普遍性を表明できる。			
		宇宙の広がり	c: 宇宙の大きさ・、地球の希少性重要性を理解する。			
三学期	地球と生命の進化	地球の生成	a:他惑星との違いを理解する。 b: 生命の誕生と環境との関係を理解し、テラフォーミングの方法を提示できる。 c: 種の広がりを理解する	定期考査	定期考査 ノート提出 パフォーマンス課題	・ ノート提出 パフォーマンス課題
		生命の誕生と進化				
		自然との共生	a: 災害の原因を理解する。 b: 防災、減災についての問題点を理解し解決策を提示できる			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度